

折に触れ 四字熟語

NO. 339 【将門有将】 しょうもん ゆうしょう

< 意味 > 将軍の家柄からは将軍が出ること。名門からはすぐれた人材が出るということ。「将門、将あり」と訓読する。

< 出典 > 『史記』孟嘗君伝もうしょうくんでん

語 釈：「将門」は代々将軍が出る家柄。

一 言：NHKの大河ドラマ「べらぼう」の少し前の回で10代将軍家治が亡くなり、幼い家斉が11代将軍につくシーンがありました。徳川家康が開いた江戸幕府は当然のことながら代々徳川家から将軍を輩出し15代慶喜まで続きました。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」